

香川県広域水道企業団 水道事業 地区別意見交換会 議事録

高松ブロック統括センター

|      |   |
|------|---|
| 開催日時 | 令和5年12月8日(金) 10:00~11:35  |
| 開催場所 | 高松市防災合同庁舎 601・602 会議室   |
| 出席者  | 委員13名 企業団職員10名  |
| 傍聴者  | 申し込み1名、受け入れ1名   |
| 内容   | <p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 令和4年度決算概要</p> <p>(2) 水道料金の統一について</p> <p>(3) その他(栴川ダムの現況ほか)</p> <p>3 閉会</p> |

要 旨

|     |   |
|-----|---|
| 委員  | <p><b>1 開会</b></p> <p>所長が挨拶を行う。</p>   |
| 委員  | <p><b>2 議題</b></p> <p><b>(1) 令和4年度決算概要について</b></p> <p>企業団より説明を行う。</p> <p>「今の状況だと全く統合の効果がないように思う。いつの間にか統合し、赤字だと言われても疑問に感じる。」</p> <p>「資本的なものは経年劣化により修繕はしないといけないが、給水収益が減っても修繕は必要であることを説明しないと、一部の住民からそういった意見も出る可能性はある。」</p>   |
| 企業団 | <p>「水道事業は特別会計で独立している。高松市の負担が増え、他の市町を補う形になるかもしれないが、相互扶助の精神で、将来的なものを香川県全体で考えなければならない。」</p>  |
| 委員  | <p>「現在、経営状況がよくないのは想定外の急激な物価高騰による電気代や物件費の高騰が原因であり、統合したからではない。また、人口減少の一方で、高度成長期時代に整備したものが一斉に更新の時期を迎えていることに理解をいただきたい。」</p> <p>「基幹管路耐震化率について、審議会では令和5年の見込みが25.3%となっていたが、決算の実績を知りたい。」</p> <p>「基幹管路耐震化率は令和9年度の見込みが31.7%、基本計画の36.3%から下がっており、高めるべきと考えるが、企業団として計画の下方修正をどう捉えているのか。」</p> |

|     |  |
|-----|--|
| 企業団 | <p>「高松市は令和9年度の目標通りで、県全体としては下がっている。高松市以外が大幅に下がったという解釈でよいか。」</p> <p>「高松市は、令和4年度決算ベースで基幹管路耐震化率が24.4%、耐震化適合率が42%となっている。企業団として耐震化を進めていかなければならない考えは変わっていないが、目標を立てた時から比べると工事の費用も高騰している。高松市は、耐震化率、耐震化適合率の目標を定め、企業団設立時から目標を下回ったことはなく、目標通り進められているという認識である。結果的に全体の実績値が下がったとすれば、高松市以外で下がったと考えられる。」</p> |
| 委員  | <p><b>(2) 水道料金の統一について</b></p> <p>企業団より説明を行う。</p> <p>「水道は独立採算制であるが、限界があるので、県や国、市町からも補助金をもらうことを働きかけてほしい。値上げとなる人たちにとって、非常に厳しいことになるので、値上がりしないような体系をとってほしい。」</p>  |
| 企業団 | <p>「生活困窮者だけ配慮するといった料金体系はおかしい。」</p> <p>「補助金については、色々と要件があり、適用できるものは補助金を活用するよう努めている。公営企業である以上、原則どおり、独立採算で経営していくものと考えており、水道事業を維持していくことができる料金体系を構築する必要がある。」</p>   |
| 委員  | <p><b>(3) その他（栴川ダムの現況ほか）</b></p> <p>委員より事前に要望のあった栴川ダムの現況ほかについて説明を行う。</p> <p>「香川用水に対する県民の意識が低いように感じる。昭和50年代の高松砂漠の時代の苦労を考えると、早明浦ダムに対して感謝の気持ちなり、もう少しPRする気持ちがあっという日頃から考えている。」</p> <p>「水源地との交流は大事なことで、香川用水記念会館や香川用水記念公園、湖水祭についてもPRした方がよい。」</p> <p><b>3 閉会</b></p>                               |